



約1万数千年前、地球規模の温暖化と湿潤化によって変容した生態系に対して、日本列島では新たな資源獲得の方法が考えられました。それは海や森に現れた多くの生物に対する資源の獲得と、調理方法の革新です。具体的には土器や弓矢の発明、漁労活動の展開、植物性食料の加工技術の獲得などがあげられますが、この1万年以上続いた時代を縄文時代と呼びます。千葉県は全国の約30%の貝塚が所在するなど、縄文時代でも数多くの遺跡が見つかっており、たくさんの土器や石器などが出土しています。これらの内容から上手な資源の使い方の様子をうかがい知ることができますので、順を追って紹介します。

#### (1) Reuse

焼き物である土器の多くは、壊れた場合はもちろん、流行らなくなった時にはまだ使える場合でも捨ててしまいます。一方、器としてまだ使えと判断した土器に対して補修孔と呼ばれる小さな孔を開け、繫いで補修(Reuse)していることもあるのです。補修孔は口縁部付近に一対認められることから、タテに入ったひびの広がりを防ぐため孔に通した紐で引き寄せ矯正したと考えられ、縄文時代を通じて認められます。



縄文土器の補修孔(紐は復元)  
(柏市駒形遺跡)

#### (2) Recycle

縄文時代では Reuse に比べて Recycle (別の用途に用いた事例 = 転用) の事例が多くみられます。

土器片錘は破片を長方形や長楕円形の形に整え、両端に紐掛け用の切り込みを施したものです。県内の縄文時代中期の遺跡から普遍的に出土する遺物で、当時の漁場と推定される低湿地遺跡である市原市市原条里制遺跡でもたくさん出土していることから、土器片を漁網のおもりとして転用していたと考えられます。他に土器片を円板に整え中心に孔を開け、糸を紡いだ紡錘車の部品として転用されたと考えられる、土器片有孔円板も出土しています。



土器片錘をつけた網(復元品)



土器片錘(酒々井町墨古沢南 I 遺跡)



土器片有孔円板  
(柏市小山台遺跡)

主に煮炊きに用いた土器を、埋葬に伴って転用することがあります。遺体の頭部、あるいはその付近に土器を被せる、または置く埋葬方法を**甕被り葬**と呼んでいます。写真は**市原市草刈貝塚**の例で、住まなくなった竪穴住居のくぼみに貝層を伴って女性が葬られています。被葬者に土器を被せた理由は定かではありませんが、被葬者あるいはその頭部に何か特別視される理由があったのかもしれません。例えば原因不明の病気や不慮の事故などで亡くなったため、そのような被葬者に対する家族やムラの人々の畏怖の思いから、このような特別な措置がとられたのではないかと考えられます。



甕被り葬(市原市草刈貝塚)

縄文時代の竪穴住居の床のほぼ中央には、調理や灯り、暖をとるための炉が設けられました。炉は関東ローム層の床を掘りくぼめた皿状の穴で火を焚くため、赤い焼土や灰などが堆積します。このような炉を**地床炉**と呼びます。縄文時代を通じて地床炉が一般的ですが、特に縄文時代中期では地床炉に炉囲いの土器や石器を付け加えた炉が作られます。**埋甕炉**は、主に煮炊きに用いた深鉢形土器のおおよそ下半分を打ち欠き、地床炉に口縁部から胴上部を埋設した炉です。



石材原産地からは遠い千葉県では、縄文石器も破損後に別の用途を考え、再加工して使用しています。例えば木材加工用の**磨製石斧**の刃部や基部が欠けると、食料加工用の**磨石類**や**砥石**として再利用されています。**石囲い炉**は、炉材に食料加工用の磨石や石皿を転用した炉で、石材が乏しくその調達が難しい千葉県らしい工夫です。



上:埋甕炉 下:石囲い炉  
(千葉市有吉北貝塚)

最後に縄文人が旧石器時代の石器を用いて、別の用途の石器に再加工した興味深い事例を紹介します。**柏市小山台遺跡**では**尖頭器**から転用した**有撮石器**が出土しています。石器全体が風化していますが、有撮石器に転用した際に両側から抉りを入れた再加工部分は、風化の度合いが異なるため色の違いが認められ、加工した時代が違うことを示しています。日々の生活の中で地面や露頭を掘る作業は行われていたでしょうから、縄文人が偶然、旧石器時代の石器を拾う機会はあったと思われます。限られた資源を有効活用するという縄文人の意識が読み取れます。



尖頭器 → 有撮石器  
(柏市小山台遺跡)

以上、土器や石器を中心に縄文時代の上手な資源の使い方の例をお話してきました。冒頭に触れたように、環境変動に伴って生じた資源に対する新たな獲得・調理・調理方法などの考案により、縄文時代は高度な狩猟採集社会を形成

していきました。そして、拠点となる場所には多くの人々が集合し長く住まう定住集落を作りました。もちろん、長く同じ場所に住み続けるためには、Reuse・Recycle も含め「ゴミを出さない」=Reduce の工夫をした資源の循環が必要です。今回はこの縄文時代の循環型社会について紹介しましょう。